

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【公開番号】特開 2018-143404 (P2018-143404A)
【公開日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)
【年通号数】公開・登録公報 2018-036
【出願番号】特願 2017-40155 (P2017-40155)
【国際特許分類】

A 6 3 B 69/36 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/36 5 4 1 S

A 6 3 B 69/36 Z J X

A 6 3 B 69/36 5 4 1 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 17 日 (2019.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

また、このような構成によれば、解析した第 1 の解析情報に基づく第 1 の領域画像および第 2 の解析情報に基づく第 2 の領域画像を出力できる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

このような方法によれば、第 1 の位置情報におけるスイングおよび第 2 の位置情報におけるスイングのそれぞれに応じた運動情報に基づいてスイングを解析するため、スイングした位置に応じたスイング解析ができる。

また、このような方法によれば、解析した第 1 の解析情報に基づく第 1 の領域画像および第 2 の解析情報に基づく第 2 の領域画像を出力できる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

このような構成によれば、第 1 の位置情報におけるスイングおよび第 2 の位置情報におけるスイングのそれぞれに応じた運動情報に基づいてスイングを解析するため、スイングした位置に応じたスイング解析ができる。

また、このような構成によれば、解析した第 1 の解析情報に基づく第 1 の領域画像および第 2 の解析情報に基づく第 2 の領域画像を出力できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

本実施形態では、記憶部 2 4 には、処理部 2 1 によって読み出され、スイング解析処理を実行するためのスイング解析プログラム 2 4 0 が記憶されている。スイング解析プログラム 2 4 0 は、あらかじめ不揮発性の記録媒体（コンピュータに読み取り可能な記録媒体）に記憶されていてもよいし、処理部 2 1 がネットワーク 4 0 を介してサーバー装置 3 0 から スイング解析プログラム 2 4 0 を受信して記憶部 2 4 に記憶させてもよい。